



東っ子供り

令和6年9月30日

第11号

大津町立大津東小学校
校長 太田黒 保宏

水俣に学ぶ肥後っ子教室

9月27日に、5年生は南小と合同で、水俣に行きました。県内の全ての小学5年生は、この肥後っ子教室で水俣を訪れ、水俣病の歴史を正しく理解し、人権の尊さと環境の大切さを学びます。

まず、エコパーク水俣のフィールドワークでは、青空の下に広がる水俣の海を眺めました。

「キラキラしていてきれい。」

「今すぐ泳ぎたいな。」

など、目の前の海を眺めた自然な感想が聞かれました。しかし、この埋め立て地には、水俣の悲しい歴史があることを学びます。汚染されていると言われる魚を、約2500本のドラム缶に詰めてこの下に埋めてあることも知ります。食べることのない魚を捕らされた漁師の方の思いを想像した子どもたち。目の前の海を守っていききたいと強く誓ったようでした。

その後、環境センターでは語り部の方のお話を伺いました。

「お金（補償金）よりも体を返して欲しい。」

「自分は半ズボン履きたかった。でも転んでけがをするので長ズボンを履かされた。」

「自分は歩けるようになりたかった。」

胎児性水俣病の語り部さんの言葉は、どれも子どもたちの心に響きました。ひどく辛いじめにあったという話もあり、障がい者の人権についても深く考える機会となりました。

また、環境センターでは、“命の水”である綺麗な水が飲めず、世界中の21億人の人々が困っていることを知りました。

「えっ、なんでそんなにいるの。」

水道の蛇口をひねると綺麗な水が飲める私たちにとって、水は当たり前にあると考えがちです。しかし、そうではない現実を知り、子どもたちの学びにも熱が入ります。

Q: 「3つの家庭排水（①味噌汁の残り、②洗濯排水、③風呂の残り水）のうち、一番川を汚すのはどれでしょう？」

そんな質問に、子どもたちの予想では、②洗濯排水が多かったようでした。そこでキットを使って実験しました。

「えっ、なんで。一番味噌汁が川を汚すのかな。」

答えは、①②③の順になることを知ります。

「味噌汁は最後までしっかりと飲みたいと思います。」

この学習の学びが感想として聞かれました。

その後、水俣病資料館で展示や動画を見ながら、環境汚染の起こりから人々の立ち上がりなどを学びました。まっすぐ歩けない猫の動画では、みんな映像に釘付けになりました。

「えっ、なんで。猫がかわいそう。」

衝撃的なものばかりで、子どもたちは言葉を失いました。そして、もやい直しをしている水俣市の取組も知りました。人と人の関係、人と自然の関係が崩れた水俣では、もやい直しにより、人権（命）や自然環境を大切にしていることを知ります。子どもたちは資料を閲覧しながら、言葉にならない悲しさと怒りが湧き上がってきたようでした。

学校で教科書や資料を使って事前学習をしてきましたが、実物を見て考える現地学習はとても重要であると感じました。

最後に、南小のみんなと別れを惜しみながら、次に会うことを約束して、明るく気持ちよく別れました。



家庭排水の実験



水俣病資料を閲覧

本の貸し出し冊数（4月～8月）

本年度の本の貸出冊数を調べてみました。すると、昨年度（R5）より、1人当たり0.7冊減っていることが分かりました。また、子どもたちの自己評価でも、「図書室を利用して、進んで本を読みましたか」という問いに、肯定的な意見は約64%でした。従って、三分の一の子どもが課題であると認識していることを知りました。一概に1人ひとりの読書量が減ったとはいえませんが、この機会に本に親しむ習慣を見直した方がよいと考えたところです。

	1人当たり貸出数
R5	8.4冊
R6	7.7冊

読書は、子どもたちの心を育みます。これから、“読書の秋”です。色々なジャンルの本と出会い、本の世界を楽しんで欲しいと思います。

ひたすら多くの本と出合う“多読”とともに、文章の詳細を把握しながら読み進める“精読”があります。どちらもメリットはありますが、本の面白さは多くの本との出会いから始まります。従って、**多読をしながら、興味関心のある本の精読に進むこと**をお勧めします。なお、10月の貸出数については11月にお伝えします。



読書の秋

本校の歴史～過去&現在～

本校は昭和44年に、錦野小学校と瀬田小学校を統合して創立しました。

従って、今年55年目を迎えることとなります。ホームページにも紹介されていますが、それぞれの学校から持って来た二宮金次郎像が、正門の両サイドに飾られています。これも2校が統合したことを表しています。



そこで、それぞれの学校の校歌を比べてみました。1番は次のような歌詞になっています。

大津東小校歌

小鳥の歌がもってくる
朝の光を浴びながら
大津東の子どもらは
瞳明るく眉上げて
阿蘇の煙に胸を張る

旧錦野小校歌

日差し明るく照り渡る
山ふところに抱かれて
阿蘇の煙を見る毎に
希望の胸をふくらます
錦野小学われらわれら

旧瀬田小校歌

朝な朝なの通い路に
仰ぐ大阿蘇俵山
雲を凌ぎて聳え立つ
雄々しく強く素直にと
我等は学ぶ瀬田小学校

旧錦野小と旧瀬田小の校歌の共通点は、“阿蘇”という文言です。

それは、現在の校歌にも反映されていて、それぞれの校歌に込められた思いを凝縮した形として、現在の校歌が作られたことに気付きました。

また、本校には、阿蘇から心地よいまつぼり風が吹きつけ、そちら（東側）を眺めると阿蘇五岳が望め、心が落ち着くロケーションとなっています。また同じように夜に眺めてみると、とても綺麗な街灯のネオンが夜空に浮かび上がり、こちらも素晴らしい夜景となっています。

当時の人々の思いを想像しながら、この東小の素晴らしさを改めて感じたところです。子どもたちと、東小のよさを更に探して行きたいと思います。



大津東小ホームページご覧ください！

大津東小学校 検索

